

赤十字かごしま

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行所
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話 099-252-0600

第182号 平成21年4月発行

赤十字基本原則:人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

赤十字の活動資金にご協力ください!!

県民のみなさまへのお願い

日頃から赤十字活動にあたたかいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、海外では5月にミャンマーのサイクロン災害、中国四川省の大地震と相次いで発生し、国内でも6月に岩手・宮城両県で大地震が起こり、甚大な被害を被りました。

日本赤十字社においては、このような国内外の災害に対し、医療救護班の派遣や救援物資の配付、義援金や救援金の募集を積極的に行いました。

このような赤十字の活動は、みなさまから善意でお寄せいただきました社資(寄付金)により支えられています。

赤十字の活動資金にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



日本赤十字社鹿児島県支部
支部長 伊藤 祐一郎

社員2年目 田加子
社員39年目 山本生太郎
社員3年目 藤原紀香

それは私たちの誇りです。

日本赤十字社の社員であること、

命を救う、力を合わせよう。

毎年500円以上の資金協力で社員にご加入いただけます。 日本赤十字社 鹿児島支部
099-252-0600 www.jrc.or.jp

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Our world. Your move.
赤十字創設150周年

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

5月は赤十字運動月間です!

5月1日は日本赤十字社の創立記念日です。また、5月8日は赤十字の父アンリー・デュナンの生誕日(世界赤十字デー)です。

日本赤十字社では、これにちなんで5月を「赤十字運動月間」として定め、社員及び社資(社費・寄付金)の拡大・増強をはかることとしています。

100年に一度とも言われる厳しい経済状況が世界的に続いています。国際救援や災害救護などの赤十字の活動に引き続きご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

愛の手を世界に広げる赤十字

みなさまから寄せられた活動資金の使い道

赤十字は「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」という7つの基本原則のもとに、世界186カ国に設置されている赤十字のネットワークを生かし、国境、宗教、人種を超えて、様々な人道的支援活動を世界的に行っています。

日本赤十字社の主な活動内容は、次のとおりです。

国際活動

医療事業

各種講習事業

災害救護活動

血液事業

赤十字ボランティア

看護師養成事業

社会福祉事業

青少年赤十字

写真で見る赤十字活動

災害に苦しむ人々のために



災害救援物資の配付



世界各地に救援の手を差しのべます



大きく広げよう！赤十字を支えるマンパワー



とっさの手当や事故防止のために



思いやりのある豊かな心を育みます



赤十字の特色を生かした医療事業の推進に



みなさんの善意が生命を救います



高齢者福祉のために



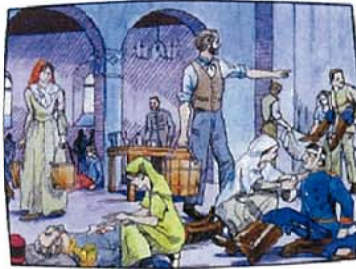
災害に備えて守る尊い命—赤十字

知ってください☆赤十字のこと

赤十字のおこり



Henry Dunant
(アンリー・デュナン)
1828-1910
スイスのジュネーブに生誕



ソルフェリーノでのデュナンの救護活動



『ソルフェリーノの思い出』出版

戦争の救護活動から問題解決に関するふたつの提案をした「ソルフェリーノの思い出」という本を出版しました。

1859

イタリア統一戦争

イタリア北部の戦場を通りかかったデュナンは、うめき苦しんでいる傷病者を目の当たりにして、献身的な救護にあたりました。

1862

日本赤十字のおこり



佐野 常民
(さの つねたみ)
1822-1902
佐賀藩早津江に生誕

提案その1

戦場で負傷した兵士を敵、味方の区別なく救護するために、各国で民間の団体を組織しておく。

提案その2

その団体が戦場で安全に活動できるように、国際的な取り決めを結ぶ。

赤十字の誕生

1863
スイスのジュネーブに赤十字国際委員会の前身である5人委員会が発足しました。ヨーロッパ16か国の代表がジュネーブに集まり、最初の国際会議が開かれ、赤十字規約が採択されました。白地に赤い十字を赤十字活動の標章として決めました。

赤十字条約の調印

1864
スイスのほか15か国の外交会議で最初のジュネーブ条約(いわゆる赤十字条約)が調印され、これが今日、国際人道法と呼ばれる戦争犠牲者の保護・救済のための国際法の発端となりました。

1877

博愛社の設立

佐野常民は、大給恒(元老院議員)らとともに、征討総督有栖川宮熾仁親王に博愛社設立の趣意書を差し出し、博愛社の活動が許可されました。

1886

赤十字基本原則の決議

ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で決議され、宣言されました。

基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救わなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本である。

ジュネーブ条約加盟

日本政府が1日も早くジュネーブ条約に加盟することを願い、各方面に働きかけた結果、日本政府はジュネーブ条約に加盟しました。



西南戦争で負傷者の救護にあたる博愛社の救護員

1887

日本赤十字社と改称

1887年5月20日、社名を日本赤十字社と改め、同年9月2日には、赤十字国際委員会の承認を得て、正式に国際赤十字の一員となりました。

2009

赤十字思想誕生150周年

アンリー・デュナンがソルフェリーノの戦いで傷ついた人々を救護し、赤十字運動について着想する機会となったときから150年を迎える年です。各国赤十字はもちろん、日本でも国際赤十字が提案する各種イベントなどのプログラムへ参加するほか、国内でも赤十字運動への国民への理解を深め、参画を促す機会とするため、さまざまな取り組みを計画しています。

いのちを守る赤十字！ (救急法、水上安全法等の普及)

鹿児島島の赤十字施設の紹介

鹿児島県赤十字血液センター



献血プラザかもいけクロス

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号
TEL 099-257-3141

受付時間 AM9:00～12:00 (成分献血11:30まで)
PM1:00～5:00 (成分献血4:30まで)

受付日 月曜日～土曜日(日・祝日休み)

駐車場 大駐車場有

献血ルーム天文館

〒892-0842 鹿児島市東千石町13-16天文館ビル2階
TEL 099-222-6511

受付時間 AM9:30～13:00 (成分献血12:00まで)
PM2:00～5:30 (成分献血5:00まで)

受付日 毎日(12月31日・1月1日を除く)

駐車場 中央公園地下セラ602(駐車券配布)
リパティ立体駐車場(駐車券配布)



献血へのご協力をお願いします。



鹿児島県の2007年度の献血者数は69,741人の方に御協力いただきました。2000年度の91,456人の献血者数と比較いたしますと21,715人の減少となり70,000人を下回っております。減少の要因といたしましては、輸血医療の安全性確保の為に海外渡航履歴のある人からの献血の制限や献血前問診内容の強化など各種の要因があります。

そのような中でも、ここ数年特に若年層の献血離れが進んでおります。今後ますます少子高齢化が進んでいく中で献血可能人口が減少し、将来献血をささえていくために必要な献血量が足りなくなる恐れがあります。

輸血を必要とされている患者さんのため、みなさまの継続的な献血へのご協力をお願いします。

特別養護老人ホーム 錦江園



〒891-0133

鹿児島市平川町2530-1 TEL 099-261-2789

錦江園は、鹿児島島のシンボル「桜島」を眼前に望み、波静かな「錦江湾」に抱かれた自然豊かな鹿児島市南部の平川町、JR指宿枕崎線、国道226号線沿いの錦江湾の岬に位置しております。

錦江園は、三方を海、周りは緑の木立に囲まれ、身近に小鳥のさえずりの聞こえる静かな環境にあります。

その地に、昭和49年6月、日本赤十字社としては最初の特別養護老人ホーム錦江園が開設され、現在は特別養護老人ホーム70名、短期入所生活介護(ショートステイ)2名の定員で運営しています。

また、錦江園の隣には鹿児島赤十字病院がありますことから、専門職員によるリハビリ、突然の事故や病気に速やかに対応する体制も整っており、安心して生活できる施設です。

利用者一人一人の意志と人格を尊重しつつ日常生活の充実とサービスの提供に努めており、また青年赤十字奉仕団をはじめとする多数のボランティアを受け入れ、園外レクリエーション、夏祭り、運動会等の行事で地域の方々との交流を深めています。

鹿児島県赤十字病院

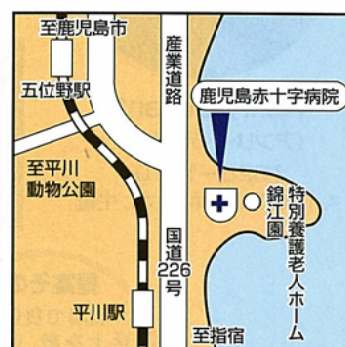
〒892-0133

鹿児島市平川町2545番地 TEL 099-261-2111



離島やへき地医療へも力を注ぎ地域医療機関等との連携強化にも努めています。また予防医学にも力をいれており、院内では生活習慣病予防健診などの健診事業を行い、年に数回、県内各地にて動脈硬化検診、頸部エコー検診なども行い住民の方々の健康増進に寄与する活動も行っています。介護相談や福祉相談業務も充実しておりますので、お気軽にご相談ください。

鹿児島赤十字病院では「人道・博愛の赤十字精神に基づき心のこもった医療を提供する」ことを理念とし、患者様に安心して療養していただくために、医師、看護師はじめ全職員が協力し支援体制を整えています。一般内科からリウマチ膠原病や脊椎外科、関節外科、脳神経外科などの専門性の高い医療を提供することができ、救急医療・災害救護にも対応しています。



効いて聞いて Vol.48

あきらめていませんか。 良くなりますよ！

かわぞえ かずまさ
鹿児島赤十字病院 脳神経外科部長 **川添 一正**



歩きにくさのあるお年寄りが近くにおられる方、『年のせいだ』、『膝が悪いから』、『腰が悪いから』と諦めている方、ぜひ読んでみてください。治りますよ！

当たり前ですが、人間の頭の中には脳が入っています。脳は大切なので頭蓋骨で守られています。さらにいろいろな敵から守るために血管の構造も違ってきます。そこで脳脊髄液（髄液）というものが脳の中で作られ、いろいろな役割を持っているのです。詳しいお話は別の機会として、今回はこの髄液が脳の中で溜まってくる病気について取り上げてみます。

ゆっくり髄液が溜まると3つの症状がおこります。まず、歩きにくくなり立ち上がるのに時間がかかるようになります。前かがみで不安定にとぼとぼ歩いているお年寄りが多いですが、「水頭症」が原因である場合が多いです。次に、物忘れが多くなり1日中ボーとしてきます。いわゆる『ぼけ』てきます。3つ目はおしっこが近くなり、間に合わなくなってきます。夜中に何回もトイレに行かれる方もそうです。このようなお年寄りは結構多く見かけられます。実はこのような症状は治ります。髄液は1日に500mlほど頭の中で作られて、それが背骨のところを通過して頭の表面で静脈に吸収されます。その吸収が少し悪いと水頭症（正常圧水頭症）になるのです。ですから、吸収しきれない分をおなかに流してあげると、病気が治るのです。治るか治らないかは簡単な検査（タップテスト）でわかります。当院では積極的にこの検査や治療を行っています。症状が思い当たる方は当院の脳神経外科外来にご相談ください。また遠方の方はお近くの脳神経外科受診をお勧めします。

赤十字を支える赤十字社員

赤十字が、その活動をすすめるうえで必要となる活動資金は、赤十字に賛同する皆様からの社費(会費)と寄付金によって支えられています。

赤十字の財源を支える「社費」を提供いただける方を「社員」といいます。

☆社員には社費を納めていただくことによって、どなたでも加入できます。
(年額500円以上)



☆個人、法人を問わず、いつでも社員になれます。

日本赤十字社鹿児島県支部においては、県内各市町村の日赤窓口(社会福祉協議会等)を通じて、町内会・自治会等のご協力のもと赤十字の社員募集を行っております。

赤十字活動は県民のみなさまによって支えられています。

赤十字の活動資金にご協力いただいた方には、次の制度があります。

表彰制度

ご協力いただいた方々(個人・法人)に感謝の意味を込めて有功章や感謝状などをお贈りいたします。



金色有功章

(個人勲章式・法人楯式)
一括または累積50万円以上



銀色有功章

(個人・法人楯式)
一括または累積20万円以上

税制上の優遇措置

日本赤十字社の事業は、その公共性から活動資金へのご協力に対し、税制上の優遇措置を受けることができます。



プラスチック門札

新規で千円以上社員



陶器製門札

一括または累積(ただし、1回につき千円以上)で2万円以上社員

1人でも多くの方々の社員へのご加入が赤十字のさらなる活動につながります。

ご協力をよろしく願いたします。

赤十字マークの意味

赤十字のマークは、赤十字の創始者のアンリー・デュランに敬意を表して、祖国であるスイスの国旗の配色を逆転したものが採用されました。



スイス国旗



赤十字マーク

保護

紛争地域などで傷ついた人々と、その人々を救護する赤十字関係者、赤十字施設、また軍隊の衛生部隊・施設等を保護するためのものです。

表示

赤十字に関係する施設、車両、看護師等であることを表示します。従って、戦争や紛争のときはもちろん、これら以外のときであっても、「赤十字マーク」は法律等で使用が制限されており、無断で使用できません。

赤十字—みんなのためにどこまでも